

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ふれあいの家		
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 6,948人（前年比 103.8%） ・令和2年度 6,691人（前年比 101.7%） ・令和元年度 6,579人（前年比 97.7%）		
	《事業》 ・主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援及び社会生活に必要な訓練を行うことで、福祉の増進や社会参加の促進を図る。		
5 収支の状況	《費用》		()は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用	53,387千円 (53,212千円)	
	・ その他市が負担した費用	959千円 (55,897千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	56,058千円 (50,440千円)	
	・ その他収入	0千円 (49,004千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートを令和4年1月に市で、同3月に施設運営法人で実施したほか、施設と就労継続支援B型の利用者による利用者運営委員会の実施（1回）。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p> <p>他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。</p> <p>個人情報の管理については、不適切な取扱いが一部あった。</p>	23/24
III 施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいたため前年度に長寿命化工事を行い、利便性の向上も含め設備面等での改善を図ったが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃などを丁寧に行い、安全・安心に努めた。</p> <p>また、感染症対策で小まめな手洗いや換気をしながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。</p> <p>また、施設と利用者による委員会を継続して開催したほか定期的な保護者会への参加については感染症対策により形式を工夫しながら、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。</p> <p>利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>指定管理施設としての基準を遵守しながら、利用者の障害特性を適切に把握し、支援の充実に努めている。</p> <p>利用者のニーズに応じたサービスを提供しつつ質の向上を図る取組みを行っているほか、生産活動の機会の提供についても工賃増額に向けた取組みに努めている。</p>	8/8

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》	
<p>当施設では、利用者が地域の中で自尊心を持って自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の個性やニーズ、特性を踏まえ策定した個別支援計画に基づき、適切なサービスを提供するとともに、利用者個々の目標や達成状況を日々確認しながら、毎日の活動終了時に、利用者とその日の活動内容について個別に振り返りを行い、評価・共有する取り組みを行うなど、サービスの質の向上に努めた。</p>	
1	<p>安心して利用いただける環境づくり</p> <p>施設内へAEDを新たに設置した他、工場棟に隣接するプレハブ倉庫の一部スペースに椅子やベッドを設置し、静養場所として活用するなど、利用者が安心して通所できる環境整備を進めた。</p>
2	<p>工賃の増額に向けた取り組み</p> <p>業者からの信頼を維持し、紙器会社の作業を安定して受注するとともに、新たに1社（宅配寿司業者）と契約を締結し、割り箸や醤油等の袋詰め作業を継続的に受注することができた。再開した施設敷地内での野菜栽培、販売についても順調に軌道にのったこと等により、総収入は昨年度の約1.7倍となり、工場利用者へ支給する工賃も、昨年度平均3,080円（1人/月）から5,280円へと大幅に増額することができた。</p>
3	<p>地域との関わり</p> <p>予定していた近隣の小学校児童との交流事業等は、感染症拡大により中止となったが、泉中央老人福祉センターの催事や泉ぬくもりの里において実施した清掃活動に利用者が参加するなど、可能な範囲で地域との関わりを維持に努めた。</p>
4	<p>保護者との関わり</p> <p>行事が行われた日の利用者の様子について、その日の内に写真を用いて保護者へ報告する等、日頃から情報共有・相互理解に努めるとともに、必要に応じて情報提供、支援を随時行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズを基に支援計画を作成し、利用者の状態に合わせた適切なサービス提供が行われている。また、生産活動の機会の提供についても、感染症対策により従前のように活動ができないなか、工夫や機会を的確に捉えながら工賃増額に向けた取り組みに努めている。</p> <p>他の施設等と継続して連携しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	<p>A</p>

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課